

はじめての

WEBセミナー

2.13 THU.
10:30-11:45

サステナ 開示

何をどのように開示する？
基本から好事例まで一挙解説



求められる開示内容

有価証券報告書やコーポレーション・ガバナンス報告書など、
どのような開示を求められるのか



IPOに向けて、いつまでにどのように
準備を進める？

IPOに向けた対応スケジュールを解説



基本から好事例にみる、
自社の魅力を表す開示

形式的にならない、自社に最適な開示とは

アンケートご回答特典

講演資料／Green監査法人によるサステナ開示相談会（無料、60分、オンライン）

お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/250213>



Green監査法人 理事長
株式会社コロケット 代表取締役
公認会計士

塩月 亨氏



お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/250213>



はじめてのサステナ開示 ～何をどのように開示する？基本から好事例まで一挙解説～

2023年3月期から、有価証券報告書における「サステナビリティ情報」の開示が上場企業に義務付けられました。サステナビリティ情報は社内の様々な部署に関連しており、その情報を短期間でまとめることは困難です。また今後開示内容が拡充される可能性が高いことから、形式的な対応ではなく自社のサステナビリティ活動が実際に充実し、投資家にもアピールできる開示を目指すことが重要です。本セミナーでは、はじめてのサステナビリティ開示で何をどのように開示すべきなのか、まず押さえるべき基本の対応から好事例までも踏まえて解説します。

- (1) 有価証券報告書で求められる開示内容
 - ・ガバナンス／戦略／リスク管理／指標及び目標
 - ・開示すべき基本項目
 - ・具体的な記載好事例（金融庁、開示好事例集より）
- (2) コーポレートガバナンス報告書で求められる開示内容
- (3) 今後の開示適用スケジュール
- (4) IPOに向けていつまでに、どのように準備を進める？
- (5) IPO準備段階から考える、自社の魅力を表すサステナ開示
- (6) Q&A

ご参加の方のご質問にお答えいたします。ご質問はお申し込み時のアンケートまたはZoomのQ&Aよりお願いいたします。
※内容やお時間の都合により、すべてのご質問にお答えできない場合がございます。ご了承ください。

塩月 亨氏

Green監査法人 理事長
株式会社コロケット 代表取締役 / 公認会計士

福岡県福岡市出身。2007年東京大学経済学部卒業。2006年に公認会計士試験に合格後、あずさ監査法人に入所。監査法人ではシンガポール赴任、グローバル企業の監査及びIPO支援等を行った。2021年に株式会社コロケットを設立し、上場企業及びIPO準備企業の会計・ガバナンス領域の支援を行っている。また、環境分野・web3分野・宇宙分野などの最新ビジネスを行っているスタートアップ企業の支援にも力を入れている。



監査で描くサステナビリティ

Green監査法人が貴社の信頼を支えます



▶ 詳細はこちら

はじめてのサステナ開示～何をどのように開示する？基本から好事例まで一挙解説～

| | |
|--------|---|
| 日時 | 2025年2月13日（木）10:30～11:45（開演15分前からアクセス可） |
| 参加方法 | Zoom、参加費無料・事前登録制 |
| 定員 | 500名 |
| 対象 | IPO検討企業の経営者、経営陣、経営企画室、IR部門、管理部門の方 等 |
| 共催 | 株式会社コロケット／宝印刷株式会社／株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO／株式会社オービックビジネスコンサルタント |
| お問い合わせ | 株式会社オービックビジネスコンサルタント 坂本／山口 mail : obc-as@obc.co.jp |

※ 講師・講演内容は予告なく変更になる場合がございます。
※ 講師・共催企業と同業の方はお申込みをお断りする場合がございます。お申込みは事業会社限定です。